PY00-28046-DM10-02 2-01 C10-012

BUFFALO

LPV2-TX1/T1 マニュアル 簡単設定ガイド

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

はじめに

本紙では、ネットワーク上のWindows Vista/XP/2000/Me/98/95/NT4.0搭載パソコンから、本製品に接続されたプリンタに印刷する方法を説明します。

※MacOSやUNIXを搭載したパソコンで本製品の設定や印刷をする場合は、付属CDに収録されている電子マニュアルを参照してください(裏面「電子マニュアルの読み方」参照)。

※本紙では、LPR(TCP/IP)プロトコルを使って印刷する方法を説明しています。NetBEUI / AppleTalkプロトコルを使って印刷する場合は、電子マニュアルを参照してください。

※本製品を使用する前に、ネットワーク上のパソコン間で正常に通信できることを確認してください。各ネットワーク機器(LANアダプタ、ルータや無線アクセスポイントなど)の使い方については、各機器のマニュアルを参照してください。

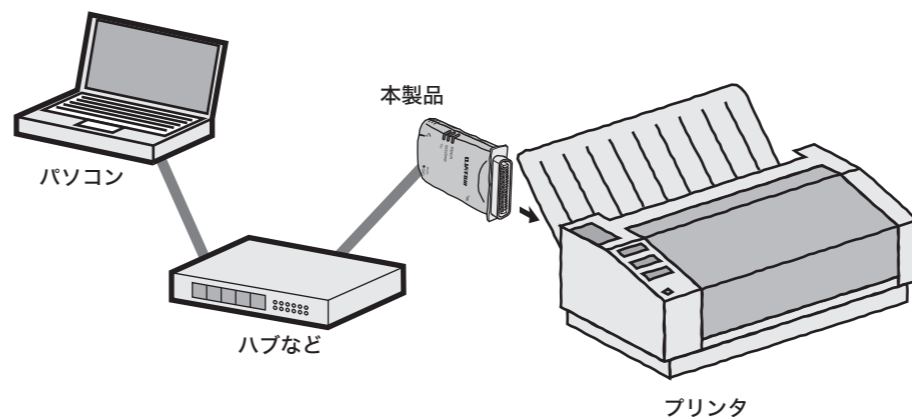
本製品について

特長

本製品は、ネットワーク上の様々なコンピュータからの印刷を可能にするプリントサーバです。本製品の特長は、次のとおりです。

- 100BASE-TX(IEEE802.3u)/10BASE-T(IEEE802.3)規格準拠　(LPV2-TX1の場合)
- 10BASE-T(IEEE802.3)規格準拠　(LPV2-T1の場合)
- RJ-45モジュラコネクタ用ポート装備　(1ポート)
- プリンタポート(アンフェノール36ピン)を1ポート装備
- TCP/IP(LPR)、NetBEUI、AppleTalkに対応。
- SNMP(MIB2)に対応。
- DHCP、BOOTP、RARPに対応。
- 付属ソフト「LPV2マネージャ」で設定が可能。

接続例

下図のように本製品をネットワークに接続し、プリンタを共有することができます。

本製品を使えるようにしよう

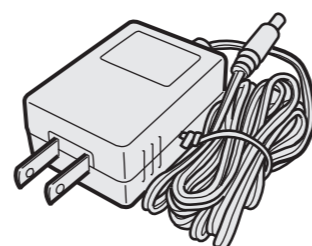
ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□本製品(本体)......................................1個

□LPV2シリーズユーティリティCD...1枚

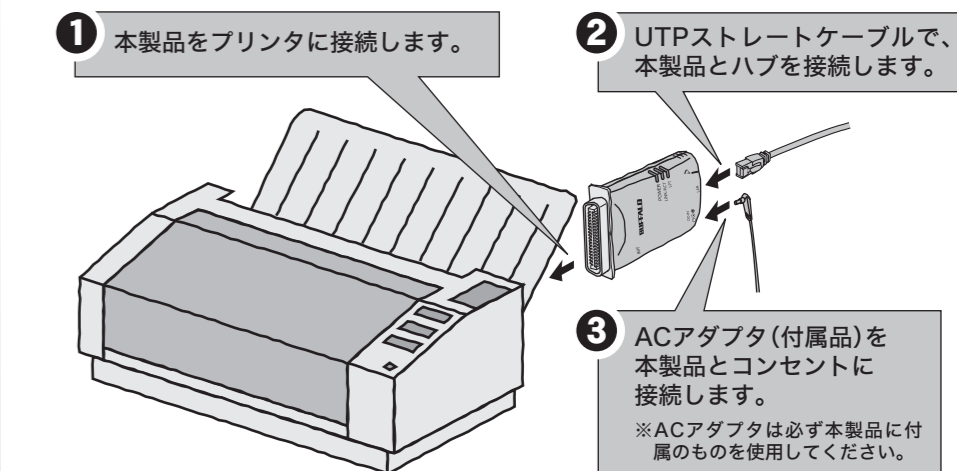
□ACアダプタ..1個

□簡単設定ガイド(本紙)..................1枚

□安全にお使いいただくために必ずお読みください(保証書付き)......1枚

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2へつづく

ステップ2 本製品を接続しよう

本製品を、プリンタとネットワークに接続します。

※プリンタによっては、本製品がプリンタの一部に接触して取り付けができない場合があります。この場合は、弊社製接続ケーブルKPB-PR(別売)をご使用ください。

※本製品をプリンタに取り付けたとき、ブザーが「ピーピー」と鳴る場合は、以下の点を確認してください。

- プリンタの電源が入っているか
- プリンタに用紙が入っているか

ステップ3 LPV2マネージャをインストールしよう

本製品の設定・管理をおこなうパソコンにだけ、付属ユーティリティ「LPV2マネージャ」をインストールします(すべてのパソコンにLPV2マネージャをインストールする必要はありません)。

❶ 添付のCD-ROM(LPV2シリーズユーティリティCD)をパソコンにセットします。しばらくすると、Print Serverユーティリティが起動します。

注意 以下の画面が表示されたら?(Windows Vistaの場合)

❷

❸

❹ 「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されたら、内容を確認し、同意できる場合は[同意]をクリックします。

❺ LPV2マネージャのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

❻ 「LPV2マネージャのインストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

裏面へつづく

設定がひととおり終わったら

●各パソコンに必要なこと

ステップ5までの操作を完了すれば、プリントサーバを設定した1台のパソコンで印刷できるようになります。ネットワーク上の各パソコンから印刷できるようにするには、各パソコンにプリンタの設定をする必要があります。

ステップ5の手順で、各パソコンにプリンタの設定をしてください(ステップ4以前の操作は必要はありません)。

こんなときは

●Windowsで、NetBEUIプロトコルを使って印刷したい

⇒電子マニュアルの「第1章 Windowsで印刷する」を参照してください。

●Macintoshで印刷したい

⇒電子マニュアルの「第2章 Macintoshで印刷する」を参照してください。

●UNIXで印刷したい

⇒電子マニュアルの「第3章 UNIXで印刷する」を参照してください。

●設定/印刷で困ったとき

⇒印刷されない場合は、プリンタの双方向通信機能が無効になっているか確認してください。双方向通信機能を無効にする方法については、プリンタのマニュアルも参照してください。

⇒弊社ホームページのQ&A情報(http://buffalo.jp/qa/pserver/make/lpv2-1.html)を参照してください。

⇒電子マニュアルの「第4章 困ったときは」を参照してください。

●設定画面の詳細を知りたい

⇒電子マニュアルの「第5章 付録」を参照してください。

●印刷するときやプリンタのプロパティを開くときに通信エラーが表示される

⇒使用するプリンタによっては、印刷するときやプリンタのプロパティを開くときに、通信エラーが表示されることがあります。この場合は、[OK]をクリックして、操作を続けてください。印刷上の問題はありません。また、インク残量などを通知するプリンタ付属のユーティリティを無効にすることで、通信エラーが表示されなくなる場合があります。

●設定内容を初期化したい

⇒本製品の初期化スイッチを3秒以上押しつづけると、出荷時設定に戻ります。

●本製品に設定したパスワードを忘れてしまった

⇒本製品の初期化スイッチを3秒以上押して、初期化してください。初期化した後は、再度本製品を設定してください。

※ パスワードを設定する場合は、パスワードを忘れないように必ずパスワードの控えを安全な場所に保管してください。

電子マニュアルの読み方

Windowsをお使いの場合

❶ CD-ROM「LPV2シリーズユーティリティCD」をパソコンにセットします。

※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。
また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

❷ [マニュアルを見る]を選択し、[実行]を選択します。

❸ 「有線プリントサーバ(LPV2-TX1/T1)」を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 「LPV2-TX1/T1ユーザーズマニュアル」を選択し、[OK]をクリックします。

Macintoshをお使いの場合

❶ CD-ROM「LPV2シリーズユーティリティCD」をパソコンにセットします。

❷ デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❸ [Manual]フォルダをダブルクリックします。

❹ [LPV2-T]フォルダをダブルクリックします。

❺ 「lpv2t.pdf」をダブルクリックします。

仕様

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

製品仕様

LANインターフェース	規格	IEEE 802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3(10BASE-T)
	伝送速度	100/10Mbps
	伝送路符号化方式	4B5B、MLT-3(100BASE-TX) マンチェスターコーディング(10BASE-T)
	アクセス方式	CSMA/CD
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T兼用ポート×1
	コネクタ	RJ-45型8極コネクタ×1
プリンタインターフェース		IEEE Std 1284-1994準拠 アンフェノール36ピン(セントロニクス準拠)
消費電流		最大350mA
動作環境		温度:0〜40℃　湿度:20〜80%(結露なきこと)
外形寸法 / 重量		62(W)×98(H)×25(D)mm / 70g(ACアダプタを含まず)

対応OS/プロトコル

対応OS

Window Vista(32bit)/XP/2000/Me/98/95/NT4.0、MacOS 8.6以降、MacOS X以降、UNIX

※ただし、MacOS、UNIXからは本製品を設定できません。

対応プロトコル

TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk(EtherTalk)

※Macintoshで使用する場合は、PostScriptプリンタのみ対応です。

※双方向通信のみ対応のプリンタ、WPS(Windows Printing System)プリンタには対応していません。

※インク残量などを通知するプリンタ付属のユーティリティは使用できません。

※複合機能搭載プリンタを接続した場合、プリンタ機能のみ使用できます。その他の機能(スキャナ、カードリーダー、FAXなど)を使用することはできません。

各部の名称とはたらき

■前面図

■左側面図

初期化スイッチ

スイッチを3秒以上押しつづける(ブザーが鳴るまで)と出荷時設定に戻ります。
スイッチを3秒以内押した場合は、再起動します。

(ブザースイッチがOFFの場合は、初期化スイッチを押してもブザーは鳴りません。)

簡単設定ガイド
2007年 3月 30日 第2版 発行 株式会社バッファロー

ステップ4 本製品を設定しよう

LPV2マネージャを使って、本製品の名前やIPアドレスなどを設定します。

❶ [スタート]－[(すべての)プログラム]－[BUFFALO]－[LPV2マネージャ]－[LPV2マネージャ]を選択します。
LPV2マネージャが起動し、自動的に本製品の検索が始まります。

LPV2マネージャで本製品を検出できないときは

・ハブやルータなどと本製品が、適切なLANケーブルで確実に接続されているか確認してください。
・ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト(トレンドマイクロ社ウイルスバスター2007など)のファイアウォール機能を無効にしてください。
・本製品を設定するLANアダプタにだけ、TCP/IPプロトコルをバインドしてください。
※詳細は、電子マニュアル「第4章 困ったときは」の「LPV2マネージャで検索しても、本製品が検出されない(TCP/IPプロトコルはインストール済み)」を参照してください。

❷
1 検索されたプリントサーバを選択します。
2 ログインボタン( )をクリックします。

❸
ポート名を下の枠にメモします。

※サーバ名やポート名は変更することもできます。

注意
本製品にパスワードを設定する場合は、パスワードを必ずメモなどに残してください。パスワードを忘れた場合、製品設定の確認および変更ができなくなります。その場合は、本製品を初期化する必要があります。

❹
1 [プロトコル設定]をクリックします。
2 [TCP/IP]をクリックします。
3 [プロパティ]をクリックします。

❺
1 プリントサーバのIPアドレスを設定します。
DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「自動設定」のままにします。
特定のIPアドレスに固定する場合は、「手動設定」にして、ネットワーク環境にあわせたIPアドレスとサブネットマスクとゲートウェイを入力します。
2 [OK]をクリックします。

メモ
・「自動取得」のときにIPアドレスが「1.1.1.1」と表示されているときは、IPアドレスが正しく取得されていません。本製品が正しくネットワークに接続されているか確認してください。
・「自動取得」でIPアドレスを取得したときは、リース期間ごとに本製品に割り当てられるIPアドレスが変更される場合があります。割り当てられたIPアドレスが変更された場合は、本製品を使って印刷するパソコンすべての印刷設定を変更する必要がありますので、固定のIPアドレスを設定することをお勧めします。

❻ [OK]をクリックします。

❼ 「設定を変更します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

❽ 「設定が完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。
LPV2マネージャが自動的に終了します。

ステップ5へつづく

ステップ5 プリンタの設定をしよう

パソコンから印刷できるようにプリンタの設定をします。Windows Vista/XP/2000/NT4.0とWindows Me/98/95で手順が異なりますので、お使いのパソコンにあわせてお読みください。

Windows Vista/XP/2000/NT4.0をお使いの場合

❶ プリンタのマニュアルを参照して、プリンタのドライバをインストールします。
ここでは、プリンタがパソコンのプリンタポート(LPT1)に接続されているもの(ローカルプリンタ)として、プリンタドライバをインストールしてください。
また、インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。

❷ Windows Vistaの場合は、[スタート]－[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XPの場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタとFAX]の順にクリックします。
Windows 2000/NT4.0の場合は、[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

❸
1 インストールしたプリンタを右クリックします。
2 [プロパティ]をクリックします。

❹
1 [ポート]をクリックします。
2 [双方向サポートを有効にする]のチェックを外した状態にします。
3 [ポートの追加]をクリックします。

❺
1 [Standard TCP/IP Port]をクリックします。
2 [新しいポート]をクリックします。

❻
[次へ]をクリックします。

❼
1 本製品のIPアドレスを入力します。
2 「ステップ4 本製品を設定しよう」の手順❸でメモした文字列を入力します。
3 [次へ]をクリックします。

❽
1 [カスタム]を選択します。
2 [設定]をクリックします。

❾
1 [LPR]を選択します。
2 「ステップ4 本製品を設定しよう」の手順❸でメモした文字列を入力します。
3 [OK]をクリックします。

❿ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」画面に戻りますので、[次へ]をクリックします。

⓫
[完了]をクリックします。

⓬ 「プリンタポート」画面に戻りますので、[閉じる]をクリックします。

⓭
1 手順❼で入力したポート名が登録され、チェックマークが付いていることを確認します。
WindowsNT4.0の場合は、続いて手順⓮に進みます。
2 [適用]をクリックします。
3 「プリンタ」欄にプリンタ名が表示されることを確認します。

⓮ [全般]タブをクリックし、[テストページの印刷]をクリックします。
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

Windows Me/98/95をお使いの場合

❶ プリンタのマニュアルを参照して、プリンタのドライバをインストールします。
ここでは、プリンタがパソコンのプリンタポート(LPT1)に接続されているもの(ローカルプリンタ)として、プリンタドライバをインストールしてください。

❷ [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]を選択して、[ネットワーク]をダブルクリックします。

❸
[追加]をクリックします。

❹ 「クライアント」を選択し、[追加]をクリックします。

❺ [ディスク使用]をクリックします。

❻ 「製造元ファイルのコピー元」に「E:¥」(CD/DVDドライブがEドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックします。

❼ 「TCP/IPネットワーク印刷」を選択し、[OK]をクリックします。

❽
1 「TCP/IPネットワーク印刷」を選択します。
2 [プロパティ]をクリックします。

❾ 「TCP/IPネットワーク印刷のプロパティ」画面が表示されたら、[追加]をクリックします。

❿
1 本製品のIPアドレスを入力します。
2 「ステップ4 本製品を設定しよう」の手順❸でメモした文字列を入力します。
3 [OK]をクリックします。

⓫ 「ポートリスト」に「¥¥<IPアドレス>¥<ポート名>」(例:¥¥192.168.11.149¥PS-002F75-P1)が登録されたことを確認して、[OK]をクリックします。

⓬ [OK]をクリックして、「ネットワーク」画面を閉じます。

⓭ 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックして、パソコンを再起動します。

⓮ パソコンが再起動したら、[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

⓯
1 インストールしたプリンタを右クリックします。
2 [プロパティ]をクリックします。

⓰
1 [詳細]をクリックします。
2 [スプールの設定]をクリックします。

⓱
1 [このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択します。
2 [OK]をクリックします。

⓲
[ポートの追加]をクリックします。

⓳
1 [ネットワーク]を選択します。
2 手順⓫で登録した文字列を入力します。
3 [OK]をクリックします。

メモ
画面に「有効な印刷先のポートを指定してください。」と表示されたときは、入力した内容が間違っています。[OK]をクリックし、文字列を正確に入力し直してください。

⓴
1 [印刷先のポート]に手順⓳で入力した内容が表示されていることを確認します。
2 [適用]をクリックします。

㉑ [全般]タブをクリックし、[印字テスト]をクリックします。
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。